

主催：(一財)岡山セラミックス技術振興財団

共催：・日本セラミックス協会・耐火物技術協会中国四国支部

第1回 焼結技術セミナー

マイクロ波焼結技術、ミリ波焼結技術、放電プラズマ焼結技術、外部加熱技術、蒸気加熱焼成技術に関する最新情報を提供するセミナーを次のとおり開催しますので、関係各位多数の御参加をお願いします。

日時

平成27年9月11日(金) 12:55~16:40

会場

岡山セラミックスセンター セミナー室
備前市西片上 1406 番地 18

定員

50名

受講料

無料

申込方法

別紙お申込書に必要事項をご記入の上、FAXかメールにてご送信ください。
(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当：川端裕美(かわばた)
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Email: erazoku@optic.or.jp

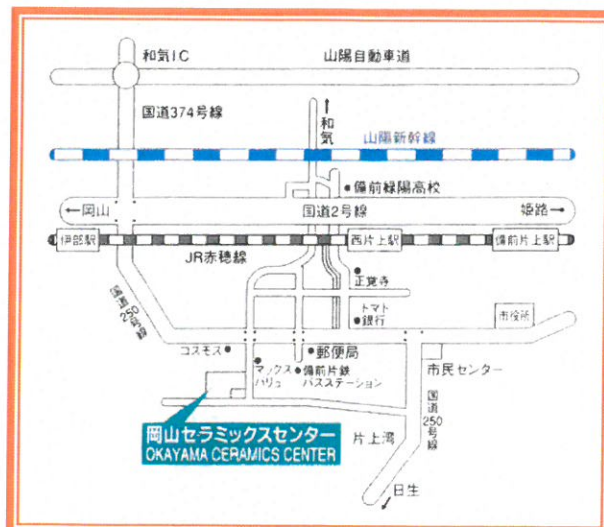
申込〆切

平成27年9月4日(金)

アクセス

JR岡山駅から約30km

- ・JR赤穂線で45分 西片上駅下車 徒歩約8分
- ・車で約1時間



プログラム

時 間	項目／概要
12:55-13:00	<p>開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓</p>
13:00-14:00	<p>「多軸通電焼結技術による高性能機能部材の作製技術」 株式会社アカネ 代表取締役社長 砂 本 健 市</p> <p>【概要】 多軸通電焼結機の構造概要、特徴と利用した作製事例などについて解説する。</p>
14:00-14:10	休憩
14:10-15:10	<p>「マイクロ波加熱」 新日鉄住金マテリアルズ株式会社 技術総括部 事業開発グループ グループリーダー 澤 野 清 志</p> <p>【概要】 マイクロ波は、被加熱体自身を発熱させることができ、また材料の選択等により、加熱をコントロールできるなど、極めて特異な特徴を有する。それらを利用しての乾燥、合成、焼結など多くの応用が報告されている。本講演ではマイクロ波加熱の原理、材料との関連、いくつかの応用の紹介と、マイクロ波加熱の将来性について概観する。</p>
15:10-16:40	<p>「過熱蒸気発生装置 UPSS®の特長・用途と今後の展望について」 トクデン株式会社 営業本部長 北 野 嘉 秀</p> <p>【概要】 UPSS®は、1000℃を超える過熱蒸気発生装置（標準タイプは最高700℃）。UPSS®一台で、水から過熱蒸気を生成することができるため、効率は95%以上で、酸素をほとんど含まない。過熱蒸気は、急速に実用化が進んでいるものの、そのほとんどが低温過熱蒸気ゆえに用途が限定。トクデン(株)のUPSS®は高温でありながら、温度制御性は±1℃と高精度。2011年に開発して以降、ユーザーとともに用途・プロセス開発を行い、2014年度は約100台を受注した。</p>
16:40	閉会

